



協会メンバーのみなさま 平成 30 年 新年明けまして おめでとうございます



山下 勝男 (当協会会長)

日本・パプアニューギニア協会法人会員・個人会員の皆様、平成 30 年、明けましておめでとうございます。年末年始にかけて、地域によっては例年になく厳しい寒波に見舞われているようですが、今のところ関東地域では冬らしく低温の日々ではありますが、幸いにも大きな雪害には至っていませんが、皆様にはご健勝にお過ごしのことと推察申し上げます。

昨年中は、当協会の事業も特段の支障もなく概ね順調に推移したものと考えております。これもかねてよりの協会会員の皆様のご支援・ご協力の賜物であり厚く感謝申し上げます。具体的には、事業計画に基づいて、「ごらくちょう」の発行、メールマガジンの発信、奨学金給付事業、「トクトク会」による講演会開催が当初の計画通り実施されております。例年協会も側面的に協力してまいりました、9月の駐日大使館主催の独立祝賀レセプションおよび親善ゴルフ大会は、3月に離任されたドサバ大使の後任大使の未着任等の事情もあり開催されませんでした。

協会独自の事業ではありませんが、二国間の友好親善関係促進に大きな貢献したと思われる次のような事業が成功裏に実施されたこと、これに対し事務局を中心にして、協会が側面的に支援を行ったことも、会員の皆様にも知っていただきたいと思っております。一つは、仙台育英学園による協力事業です。同学園は、かねてより学習机など学用品の寄贈などの事業を行っていますが、昨年は、中古吹奏楽器の寄贈および PNG の国立高校への日本語教育プログラムの実施が開始されました。第二は、日本政府の文化無償協力

による軍楽隊への楽器の寄贈および楽団員への研修事業の実施、第三は、東部ニューギニア戦友遺族会による古着の寄贈および同会会長堀江正夫氏(当協会顧問)からの多額の寄付金がありました。この寄付金は、上記事業の実施に当たっての輸送費にあてられました。これらの事業に対しては、PNG 政府および関係先からの多大の感謝が表明されているところですが、協会としても、事業実施いただいた関係の団体、関係者の方々に、この場をかりて心からのお礼の言葉を申し上げたいと思っております。

昨年の秋には協会にとっても、嬉しい出来事がありました。マウエ元駐日大使が日本政府より叙勲されたことです。2年前の 2015 年の春には、ソマレ元首相が同じく叙勲されたことは記憶に新しいことです。ご両人の日本 PNG 関係の緊密化に貢献された功績が高く評価されたものですが、ご両人は、当協会とも深い関係があること(ソマレ氏は首相在任当時、当協会の設立に当たって、物心両面で多大なご支援いただき、また、マウエ氏は大使在任中は勿論のこと、現在でも、協会の名誉顧問として極めて深く、良好な関係にある)を考えると、協会にとっても名誉なことと考えております。

今年は、国際舞台で日本、PNG がともに活躍する重要な会議が二件も開催されます。一つは、5月福島で開催予定の第 8 回島サミット、も一つが、11月 PNG で開催される APEC です。協会としても何かお手伝いすることがあれば喜んで協力したいものです。

「仙台育英&ソゲリ日本語学習センター」活動報告

センター長 石井 靖也（当協会個人会員）

仙台育英&ソゲリ日本語学習センター（以下「センター」）が2017年2月17日に中嶋大使を迎えてオープンし1年になりますが、センターを舞台に様々な交流がありました。3月14日、『所ジョージの笑ってコラえて!』（日テレ）の収録が行われ、笑いの共通性が日本に発信されました（放映は日本のGW）。8月24日には長野県、栃木県等混成の慰問団が訪問し、孫と接するかのように優しく学生と交流してくれました。翌25日の「オープン・デー」は、日本語学習成果のほか日本の歌や日本食を紹介する場になりました。9月8日には邦画『テルマエ・ロマエ』が日本大使館によって出前上映されました。10月13日の卒業式には中嶋大使が主賓として参加、550人の学生を前に、センターの意義を述べられました。11月4日～10日には『世界高校生津波サミット2017 in 沖縄』にセンターで学ぶ学生6人が招待され、八重山高校を始め多くの日本の高校生と交流ができました。11月20、21両日は、仙台育英学園空手部の加藤一真君（1年生）と東世菜顧問（教諭）が来校し、「空手教室」を開き、全校の一体感を醸成してくれました。加えて21日には、先の『津波サミット』の報告が、中嶋大使、及び全校に対して行われました。

大使の3度の来校を含む重層的な交流は、「センター」の設立という一石が仙台育英学園によって投げられ、「民」と「官」がそれに呼応してくれたから実現したといえます。コラボの連鎖です。コラボは進化します。AusAIDが今年から、PNGの国立高等教育機関を対象に、無料のインターネットアクセスサービスを開始することになり、当センターもその恩恵にあずかります。コラボの多国籍化です。

人的資源の開発はPNGの自立的発展の要です。ソゲリ国立高校はPNG全土から政府に選ばれた学生が集まる学校です。その学生達が「センター」を介して、日本語を学習しながら、日本の文化、技術力、経済力、日パ関係等についてイメージを育てているのです。

当センターへのご協力は日パ親善の架け橋の構築に連鎖しています。センターの維持・運営にご尽力下さっている関係者、センターの活動を温かく見守って下さっているソゲリの地元関係者、そして、根気強く日本語を学習している学生諸君に、心より感謝いたします。日パ協会の皆様には、益々のご健勝をお祈りいたしますとともに、当センターに対する末永いご指導とご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

平成30年1月 記



センターの前庭で学生と記念撮影



仙台育英学園空手部による空手教室風景



日本語試験に取り組む G-11 の学生

中嶋 敏（在パプアニューギニア特命全権大使）

新年明けましておめでとうございます。2018 年は PNG にとって APEC の年です。

昨年 12 月 4 日には、マイクロバス 23 台、ミニバス 23 台、救急車 22 台、計 68 台を供与し、PNG 政府から大変タイムリーな APEC 支援と感謝されました。

PNG 国防軍の軍楽隊に対する支援については、昨年 8 月 28 日に草の根文化無償資金協力により、約 1,200 万円相当の真新しい楽器を供与しました。これまで PNG 軍楽隊にはバグパイプやドラムしかありませんでしたので、今回、ようやく本格的なブラスバンド軍楽隊が編成できるようになりました。

日本からは、今回の楽器供与以外にも、仙台育英学園からの中古楽器の寄贈（輸送費は日本パプアニューギニア協会が支援）、陸上自衛隊中央音楽隊隊員と JICA 専門家による当地での演奏指導及び選抜された PNG 軍楽隊員の日本研修等が行われており、官民を挙げたオールジャパンの態勢で軍楽隊の育成を支援してきました。また、本年半ばには、我が国からオリジナル行進曲の提供も予定しています。

本年 11 月には APEC 首脳会議が当地で開催されますので、要人歓迎等様々な場で軍楽隊の活躍が期待され

ています。また、APEC 以後も、軍楽隊が国家的行事や市民交流の場で演奏し、PNG 国民が音楽に触れる機会が増え、文化振興にも繋がることを期待しています。こうした一連の支援を通じて、日本と PNG の関係が一層発展することを祈念いたします。



荻原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）

また今年もチャリティバザーの季節がやってきました。

今年はアジア婦人会設立 50 周年を迎え、益々盛大に開催される予定です。本バザーは、アジア、大洋州 26 各国の協力のもとに開催され、当日の収益は全て参加国の福祉、教育支援、災害援助のために使われます。今年のバザー委員長は中国大使夫人です。各国の珍しいお料理&民芸品の販売、中国の民族舞踊などをお楽しみ頂けます。また、本年度の日本ブースは、山形県のご協力により、山形県の観光紹介、物産の販売も行われます。

尚、毎年、抽選のプライズとして、ニューギニア航空様からは成田 - ゴロカ往復航空券を 2 枚、PNG Japan 様からはゴロカ半日観光、ホテル 3 泊をご提供いただいております。

日時 2018 年 4 月 18 日 水曜日
場所 ANA インターコンチネンタルホテル東京 地下 1 階大宴会場
地下鉄「溜池山王駅」13 番出口、「六本木 1 丁目駅」3 番出口
入場券（抽選券付き） 2,000 円
ラッフル券（抽選券付き） 500 円

尚、入場券、ラッフル券のご購入はパプアニューギニア大使館、荻原までご連絡いただければと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。 ☎ 03-3710-7001、✉ ogiwara@png.or.jp

「ごらくちょう」をお読みの皆さま、こんにちは。今回このコーナーを担当します、コスモエネルギーホールディングス株式会社です。皆さまにとってはガソリンスタンドの「ココロも満タンに コスモ石油」が馴染みであるかと思います。私たちのグループでは、石油開発、精製、販売、石油化学、風力などの事業を行っていますが、2015年にホールディングス化し、パプアニューギニア協会様にはコスモエネルギーホールディングスが会員として登録をさせていただいております。石油を中心としたエネルギーインフラを支える企業として、私たちの使命と役割はとても大きなものです。エネルギーの安定供給を堅守すると同時に、世界の社会課題の解決に向けて、事業活動を生かした独自の環境活動に継続して取り組んでいます。その取り組みの一つが、コスモ石油エコカード基金（以下、エコカード基金）です。2002年に発行を開始したエコカードは、コスモ石油のガソリンスタンドで使える会員カードの一つで、環境活動に貢献できる機能が追加されたカードです。環境意識が高いエコカード会員のお客様と当社グループが、ともに寄付金を拠出してエコカード基金を

構成し、地球温暖化問題を中心としたプロジェクトを世界中で実施しています。そのプロジェクトのうちの一つに、パプアニューギニアで取り組んでいる熱帯雨林保全プロジェクトがあり、ご縁があって協会に入会させていただきました。パプアニューギニアでは熱帯雨林が減少していますが、その原因の一つとして考えられているのが過剰な焼畑や商業伐採です。熱帯雨林減少の対策として、最も安易に考えられる手段は植林ですが、植林をしても根本的な原因は解決しません。そこで本プロジェクトでは、現地で定置型有機農法を啓発する活動を中心に取り組んでいます。実施しているのは財団法人オイスカ様で、エコカード基金は助成している立場ですが、共に歩み始めて15年が経過しました。助成金の期間としてはかなり長期に渡りますが、環境問題の根本的な解決をめざして、これからも継続して取り組んでまいりたいと考えています。

コスモ石油 エコカード基金



事務局からのお知らせ

2018年最初の「ごらくちょう」をお届けいたします。本年はポートモレスビーでのAPEC首脳会談の開催、在ポートモレスビーの新日本大使館の竣工、新駐日パ

プアニューギニア大使のご着任など、大きなイベントが盛りだくさんです。4月には新日本大使館開設のお祝いを兼ねて協会ツアーも開催予定です。日本の陸上自衛隊の指導を受けたPNG国防軍軍楽隊のAPECでのお披露目を兼ねた演奏も、非

常に気になるところです。これらは順次メルマガ、ごらくちょうを通じて皆様にご案内申し上げます。

また、東部ニューギニア戦友遺族会の永代神楽祭は例年通り4月5日（木）に靖国神社で開催されます。詳細は協会事務局まで。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：30社 ◆ 個人会員：176名 (2018年1月31日現在)

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員5,000円 法人会員50,000円 学生1,000円 PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン(株)内
TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556 E-mail:info@jpng.or.jp URL:http://www.jpng.or.jp/